

2025（令和 7）年度

日本大学法学部一般選抜

A 個別方式

第 2 期

【試験問題の出題意図】

国語

「現代の国語、言語文化（漢文を除く）」

現代文2題（ⅠⅡ）、古文1題（Ⅲ）を出題した。大問ⅠⅡⅢの全てに、文章の部分的な意味を問う設問、並びに文章全体の内容に関する正誤を問う設問の両方を出題した。また、大問ⅠⅡⅢのいずれかにおいて、実社会で必要な語句の意味・用法・表記に関する設問と、古典の世界に親しむために必要な語彙や文法のきまり、我が国の文化の中での特質に関する設問を出題した。

Ⅰ 服飾の歴史を扱った評論に関する総合的な大問 時代ごとの服飾の根底にある思想を効果的な組立て方で表現した文章に対する思考力・判断力を試す意図で出題。引用されている文章と著者の文章を適切に峻別し、論理的思考ができているかを問う設問を用意した。また、書くこと・読むことに関する記述式問題を含む点が特徴的といえる。

Ⅱ 言語評論に関する総合的な大問 言語に関する様々な事例・用例が挙げられた文章から、それらの情報をもとに論理的な思考ができるかを試す意図で出題。著者が伝えようとする内容や表現の意味を的確に読みとっているかを問う説明問題を多く出題した点に特徴がある。

Ⅲ 平安時代の女流日記文学に関する総合的な大問 古典独特の語彙・表現・仮名遣い・古典文法などの基本から、様々な説明を問う応用問題までを幅広く試す意図で出題。我が国の言語文化に特徴的な和歌に関する問いを複数用意し、内容をもとにした歌の作者の特定問題や表現技法を問う問題が特徴的といえる。

英 語

大問 I（長文読解・語彙理解問題）

出題意図：

この設問は、英語によるコミュニケーションにおける「読むこと」の領域を中心に、語彙・表現・文法の知識を活用して的確に情報を理解する力を問うことを目的としている。特に「外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動」を通して育成される資質・能力（高等学校学習指導要領 外国語 第8節 第1款（1）（2））に対応している。

また「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」の「思考力、判断力、表現力等」に関する能力、すなわち情報を整理して論理的に読み取り、語の意味や文脈を適切に解釈する力も問われている。

大問 II（データ解釈問題）

出題意図：

この設問は、英語で表現された統計資料やグラフを読み取り、数字や傾向を正確に理解する力を問うものである。これは「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」における「読むこと」の領域、特に「社会的な話題」について、「必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉える」力を育成することを目的としている。

大問 III（会話文空所補充問題）

出題意図：

この設問は、実際のコミュニケーション場面を想定し、「話すこと[やり取り]」領域における即時的な応答力を問うものである。「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」で定められている「話すこと[やり取り]」の目標（例えば、「日常的な話題」についてやり取りを行い、「情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取り」を行う活動）に対応している。

加えて、論理的な展開を意識しつつ、自然な表現を組み合わせる能力を求めており、「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」の実践的な言語運用能力の涵養も視野に入れている。

大問 IV（文法・語法問題）

出題意図：

この設問は、基礎的な語彙・表現・文法事項を、実際のコミュニケーション場面で正確に活用する力を問うことを目的としている。特に「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」の「知識及び技能」を体系的に定着させることを狙っており、これらの知識が「聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと」に適切に活用できるかを評価する。

大問 V（整序問題）

出題意図：

この設問は、英語の語順や論理的な構成について理解し、正しい文構成する力を問うものである。「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」における「論理の構成や展開及び表現」についての理解と実践を促すことを目的としている。

特に、文を組み立てる際の論理的思考、語彙・文法の統合的運用を評価し、「情報を整理しながら」、「論理的に表現する力」を養う指針と深く関連している。

日 本 史

「歴史総合，日本史探究」

I 古代・中世に関する大問。6世紀以前の日本列島の様子とそれを伝える史料に関する設問、平安時代、鎌倉から戦国時代に関する設問を配し、幅広く基礎的知識を問う大問として作成されている。また、年代整序問題や正誤問題を組み合わせ、各時期の政治と社会・文化を結びつけて考えられているかどうか、歴史的思考力をも問うた問題であるといえる。

II 近世の対外関係と経済を中心とした大問。史料問題を交えることにより、史料の読解力も試す構成になっている。一部、人物の経歴を問う問題も含めたが、全体を通して基礎的知識を問いつつ、16世紀から19世紀にかけての歴史の流れが理解できているかを問う問題とした。

III 「日本史探究」の授業で「近代日本の小国主義」というテーマによる主題学習の成果を発表するという想定の下で、中江兆民・石橋湛山らを取り上げたリード文に関連して、明治～大正期の日本の政治・経済・外交・思想の分野に関する学習の到達度を評価することを意図した。正誤判定や年代整序問題の問題を通じ、基礎的な知識だけでなく、それを使った歴史的思考力・判断力を試す問題とした。

IV 「歴史総合」の授業での研究報告の準備過程を想定し、近現代の民主主義の歴史をめぐり、高校生と教員の会話を提示しながら、そこで示された事項がどれだけ理解されているかを問う構成とした。さらに、問題のなかに、今日の法や政治と通底する事項や、現在の社会情勢がどのように基礎づけられたのかを問う部分を盛り込み、今日との関連の中で歴史を見ることができているかを試した。

世界史

「歴史総合，世界史探究」

- I ゲルマン人に関する基礎的知識、出題された問題文の正確な読み取り、基礎的知識と読解によって得た情報とに基づく論理的な思考を問う問題として作成されている。特に、個別の事象のつながりの理解を問う設定がなされている。
- II モンゴル帝国に関する基礎的知識、出題された問題文の正確な読み取り、基礎的知識と読解によって得た情報とに基づく論理的な思考を問う問題として作成されている。特に、モンゴル帝国に関わる事象を年代に着目しながら考察する能力を問う設定がなされている。
- III 朝鮮史に関する基礎的知識、出題された年表や問題文の正確な読み取り、基礎的知識と読解によって得た情報とに基づく論理的な思考を問う問題として作成されている。特に、朝鮮史に関わる事象を年代に着目しながら考察する能力を問う設定がなされている。
- IV オスマン帝国に関する基礎的知識、出題された史料や問題文の正確な読み取り、基礎的知識と読解によって得た情報とに基づく論理的な思考を問う問題として作成されている。特に、諸史料から歴史に関する様々な情報を適切に読み取る能力を問う設定がなされている。

公共、政治・経済

I 国会における立法に関する制度を題材として、わが国の政治制度に関する基本的な知識、およびその応用力を問うものである。具体的には、我が国の選挙制度や三権分立のルールの内容を問う問題等がある。

II 国際的な政治に関する基本的な知識、およびその応用力を問うものである。具体的には、国際連合の組織やその活動、世界の難民に関する状況や難民の保護のための条約に関する問題等がある。

III 貨幣や金融に関する基本的な知識、およびその応用力を問うものである。具体的には、金利の意義やこれを巡る我が国の組織、とくに日本銀行や金融庁などに関する問題等がある。

IV 環境問題を題材として、国際経済の現状やルールについての基本的な知識、およびその応用力を問うものである。具体的には、環境問題に対する国際的な取り組みのための条約の内容や、持続可能な社会のための国際的な取り組みに関する問題等がある。

数 学

I 小問 4 題、「二次不等式」に関する問題、「場合の数」に関する問題、「三角比」に関する問題、「データ分析」の中央値と分散を求める問題によって構成されている。幅広い分野の基礎的知識と応用力を問う問題として設計されている。

II 「球面の方程式」に関する大問、平面図形や空間図形の性質についての理解、座標空間における球面と平面についての思考力や判断力、およびその計算方法への理解を問う問題によって構成されている。

III 「数列」に関する大問、数列に関する基本的な概念や原理、法則の体系的な理解、および数列の一般項や和を求める思考力や判断力、計算方法への理解を問う問題によって構成されている。

IV 「微分・積分」に関する大問、微分・積分に関する思考力や判断力と基本的な知識や技能の理解、極大値と極小値に関する思考力や判断力、計算方法への理解を問う問題によって構成されている。